

北吉野神童寺きたよしのじんどうじ〔又金剛藏院こんがうざうあんと号す〕綺田かぼたのひがし山中にあり。〔此所伊州上野うへのの往還路なり、神童寺越じんどうじごゑといふ〕真

言宗にして、本尊は蔵王権現ざわうこんげん、立像長八尺なり。当山伝記に曰、金精明神神童こんせいみやうじんしんどうと現じ、役行者えんのぎやうじやと共に作り給ふ尊像なり。開山堂には役行者の像を安置す、四十二歳の御時みづから作りたまふなり。子守勝手こもりかたての両社、金精明神こんせいの社は、本堂の東二町にあり。此後山を袖振山そでふりやまといふ。抑此山は昔和州吉野山よしのやまに毒蛇出て登山の人を悩す、故に笠置山かさぎさんを大峰とし当山を吉野山に准じて参詣せしなり。〔当所の人家は多くむかしの僧坊の跡なり、家々に坊舎の名あり、例祭は三月十一日なり〕